

平成28年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内容
①	地区まちづくり協議会名
②	地区まちづくり協議会の認定日
③	地区まちづくり計画の認定日
④	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
⑤	今年度(H28.4.1～H29.3.31)の主な活動内容について (会議やイベントなどの参加人数)
⑥	今年度活動を進められた中で、評価できることは どんなことか。 (よかったこと、成功したこと)
⑦	課題や問題の解決に向けての取り組み、改善
⑧	今後の予定
⑨	まちづくり活動支援

平成28年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会 認定日	③計画 認定日	④協議会の活動テーマ (認定申請書より)	⑤平成28年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨まちづくり活動支援
1 白川地区 まちづくり協議会	H20年 6月26日	H28年 8月26日	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶業の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に 向けて検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 7日 白川区内交通安全啓発活動 (25名) 【内 容】 通学児童の安全確保、交通安全対策の啓発 ● 6月10日 茶業研究所建て替え工事 説明会 (20名) 【内 容】 京都府、宇治市、まちづくり協議会幹事会が参加 ● 6月27日 まちづくり協議会幹事会 (15名) 【内 容】 「まちづくり計画書」について ● 7月23日 天ヶ瀬ダム再開事業 説明会 (15名) 【内 容】 国交省、宇治市、白川地区役員、まちづくり協議会三役が参加 ● 8月26日 「白川地区まちづくり計画」認定公布 【内 容】 宇治市長より認定書交付 ● 8月29日 白川区内交通安全啓発活動 (25名) ● 9月 2日 まちづくり協議会 幹事会 (15名) 【内 容】 「白川地区まちづくり計画」発行・運用について ● 9月16日 まちづくり協議会幹事会 (15名) 【内 容】 「白川地区まちづくり計画」、「日本遺産」等について ● 10月 7日 「有害鳥獣対策」講演会の開催 (29名) 【内 容】 白川地区でまち協として取組む 講師 奥田定雄氏(京都府猟友会会長) ● 10月 7日 まちづくり協議会 幹事会 (15名) 【内 容】 白川地区まちづくり協議会について ● 10月16日 まちづくり協議会 幹事会 (15名) 【内 容】 白川地区まちづくり協議会について ● 10月29日 まちづくり協議会 幹事会 【内 容】 白川地区まちづくり協議会 準備 ● 11月 3日 白川地区まちづくり協議会 (50名) 【内 容】 白川地区まちづくり協議会にて開催「まちづくり計画書」区内全戸配布 ● 11月11日 茶業研究所建て替え工事 説明会 (15名) 【内 容】 京都府、宇治市、まちづくり協議会幹事会が参加 ● 11月14日 「白川地区要望書」提出 (6名) 【内 容】 区役員、まちづくり協議会三役が参加 ● 11月24日 「まちづくり計画書」区外配布 (5名) 【内 容】 京都府、宇治市、白川地区役員、生長の家他に配布 ● 12月12日 まちづくり協議会 幹事会 (15名) 【内 容】 「お茶の京都」説明会 ● 1月10日 白川区内交通安全啓発活動 (30名) ● 1月23日 「土砂災害危険区域」説明会 (15名) ● 2月10日 茶業研究所建て替え工事 説明会 (15名) ● 2月17日 「白川地区要望書」説明会 【内 容】 宇治市、まちづくり協議会幹事会が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「白川地区まちづくり計画」の総仕上げ及び発行についてまちづくり協議会・幹事会でいかに地域住民にお知らせするか発行記念集会の開催時に充分協議を行い、尚且つ全体で取り組めたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「まちづくり計画」の策定に従い、年次計画をもって今後どのように進めていくか十分に議論する必要がある。 □ まちづくり計画書の発行。 □ 宇治市に6項目に及ぶ要望書を提出することに取り組んだ。 □ 今後は行政機関の責任者あるいは関係者への働きかけをしていくことも欠かせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 京都府及び宇治市の「お茶の京都」との取り組みを勘案し、白川地区で出来ることについて協議を深める。 ○ 白川地区に隣接する大規模な福祉施設、ゆうゆうの里、白川明星園との意見交換・学習の場を持つこと。 ○ 白川地区まちづくり計画でできる交通安全対策事業や道路改善について具体的に進行・着手したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動費助成対象金額:154,440円 助成金:77,000円 内容:地区まちづくり計画印刷製本費
2 南陵町地区 まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育ててゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月15日 防災役員会 要支援者訓練打合せ (役員5名) ● 4月24日 地区まちづくり協議会の活動報告 (自治会参加者162名) ● 5月29日 要支援者訓練「要支援者避難誘導訓練・その他」(参加者約90名、役員12名) ● 8月20日 夏まつり (521世帯、役員15名) ● 10月23日 防犯委員会 防犯強化について (役員5名) ● 11月13日 防災訓練 (参加者約170名、役員12名) ● 1月 5日 南陵町地区住民アンケート調査 (役員3名) ● 2月 5日 本地区まちづくり協議会役員会を開催 【内 容】 28年度事業報告と次年度の活動計画及び「空き家条例のアドバイザー派遣制度の説明」を行った。(役員15名) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区まちづくり計画によって、地区内の空き家・空き地の大半を把握でき、市と連携して、放置空き家の防災・防犯性を高め、景観などの問題発生を未然に防いでいる。 ○ 空き家アドバイザー派遣制度が開始され、空き家の管理が徹底されている。今後も「閑静で快適な住環境と緑豊かな景観を守る」を継承し、安心・安全な町を実現していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 昨年と同様に、空き地・空き家が増加しており、協議会としてはその所有者又は連絡先を全て把握できていない。 ■ 「本地区まちづくり計画」を推進していく上で、一部の住民が不満を持っているため一定の障害となっている。 □ 連絡先が不明の空き地・空き家について自治会や近隣住民と協力して連絡先の判明に努める。 □ 防犯・防火のため適時見回りを行う。 □ 市の空き家条例やアドバイザー制度について、空き家の所有者に周知活動を行うことで適切な管理を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「安心・安全に暮らせる町」を実現させていくために、区毎に区住環境管理委員が協力して当該区の環境維持・向上に努める。 ○ 他の役員は住環境管理委員長を補佐して地区内の環境・景観を維持発展させていくことに重点を置いて活動する。 ○ 今後も地区内全域で空き家の現状を把握し、空き家・空き地の管理及び防災対策の為、随時夜回り等努める。 	—

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会 認定日	③計画 認定日	④協議会の活動テーマ (認定申請書より)	⑤平成28年度活動内容	⑥よかったこと、評価できる こと	⑦課題や問題の解決に向け ての取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨まちづくり活動支援
3 南御蔵山地区 まちづくり協議会	H21年 8月14日	未	本協議会は、緑ゆたかで閑 静な住環境を維持し、住民の 快適で安全な生活を守ること を目標としたまちづくりの実現 に向けて、その具体化と推進 をはかることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 3日 自治会総会 (50名) 【内 容】 協議会2015年度活動報告及び 今後の方針について報告し了承を得た。 ● 5月25日 第6回うじ井戸端会議 (2名) 【内 容】 中宇治まち歩き、平等院表参道をウォッチング。改善点を提案。 ● 6月25日 協議会総会 (16名) 【内 容】 2015年度活動報告および今後の活動について報告。 まちづくり計画案の作成について意見聴取、議論。 医療少年院跡地や独居老人の問題提議。 ● 7月30日 第5回まちづくり懇話会 (31名) 【内 容】 地学の専門家である紺谷吉弘氏を講師に招いて 防災について講演いただき、参加者として議論。 ● 9月 8日 第7回うじ井戸端会議 (1名) 【内 容】 交通問題について取り組む。 ● 9月22日 帆足正規さんを偲ぶ会 (40名) 【内 容】 永年地域に貢献され6月に薪能の舞台上で倒れられ 亡くなった帆足さんを偲んだ。その中で協議会の 活動について話し合った。 ● 10月28日 宇治市へ側溝全面改修要望書の提出 【内 容】 建設部長に自治会としての 市長宛て側溝全面改修要望書を提出。 側溝の改修に関する手順や条件について説明を受けた。 ● 11月 3日 医療少年院跡地問題の会合 (10名) 【内 容】 近隣3自治会会長と協議会役員でこれまでの経過及び 今後の活動について協議し、市へのヒアリングや 医療少年院の見学などの実施を決定。 ● 11月22日 宇治市役所 医療少年院に関するヒアリング (3名) 【内 容】 宇治市政策推進課長、総務課長と面談し現状や宇治市の 対応状況など教えていただいた。 ● 11月29日 南山城学園訪問 (1名) 【内 容】 障害者施設の実態や設備について知識を得る。 ● 12月 4日 障害者施設説明会 (40名) 【内 容】 事業者からの説明を受けるが代表者の出席が無く、 資料と説明が異なることがあり、信頼度が低く、 反対意見が続出した。賛否では出席者全員が反対した。 「公共施設のあり方について」公聴会 (7名) 【内 容】 単一的に廃止、統合ありきでは無く、生活重視、地域毎の 状況に合った公共施設のあり方を聞く。 ● 1月10日 医療少年院視察 (8名) 【内 容】 淵上次長に対応して頂く。院内を視察し、施設の老朽化など 移転後の継続使用は困難。 ● 1月31日 宇治市に医療少年院跡地の公共利用に関する要望書提出(3名) 【内 容】 政策推進課長に宇治市長あての医療少年院跡地の 公共利用に関する要望書を手渡す。 ● 2月20日 京都府に医療少年院跡地の 公共利用に関する要望書提出 (2名) 【内 容】 京都府山城振興局振興室長に府知事宛ての医療少年院跡地の 公共利用に関する要望書提出 ● 3月13日 国への医療少年院跡地の公共利用に関する要望書提出(2名) 【内 容】 淵上氏に国宛ての医療少年院跡地の公共利用に関する 要望書提出。提出先は法務省大阪矯正管区堀氏の指示。 ● 3月22日 第8回うじ井戸端会議 【内 容】 2012年に災害に合われた志津川地区を見学させて頂いた。 ● 3月23日 医療少年院移転先工事地元説明会 【内 容】 現時点では取水池などの取水工事で建物は いつになるかわからない。 <p>上記以外についてはまちづくり協議会役員会18回、自治会役員会10回</p>	○ まちづくり計画案の基本 的な考えが出来たこと。 ○ 側溝全面改修について、 市とコミュニケーションが取 れ、今後の進め方が判明した こと。 ○ 京都医療少年院移転後 の跡地の公共利用に関して 近隣地域と連携できることが わかった。 ○ 自治会役員(特に六役) との関係が昨年度より良好に なった。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自治会との関係性が未 だ良好ではないため、まちづ くり計画があっても自治会の 積極的な活動が無ければ計 画の実行は望めず、大きな 課題となっている。 ■ 自治会との関係改善に 注力しているが時間がない等 で会議が持てないことがあ る。 □ 住民に対する自治会の 広報活動を行うことで自治会 への関心を高めるため尽力 する。 □ 自治会役員の方々との 関係改善に努める。 	○ まちづくり計画案を作成 し、地域・行政に対して必要 な手順を踏んでまちづくり計 画を作る。 ○ 側溝全面改修を速やか に推進するために、自治会の 組織としてサポートする。 ○ 京都医療少年院跡地問 題は自治会を代表して今後 の状況を見守り、情報を近隣 自治会に提供し、協力体制を 築く。 ○ 自治会の組織として、単 年度任期ではない協議会の 特性を生かせる課題に取り 組む。	・ 活動費助成対 象金額:10,000円 助成金:5,000円 内容:講師謝礼
4 宇治市北の玄關 街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地藏地区並びに木幡御蔵 山地域の一部の都市機能と 生活環境の向上をはかり、安 安全かつ快適で文化的な街づ くりを推進することを目的とす る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月12日 定例会議 (9名) ● 7月14日 定例会議 (7名) 【内 容】 JR奈良線複線化に関して市より説明 ● 8月18日 臨時会議 (13名) 【内 容】 ヨーカドーの閉店に関し跡地など今後の地区行事の 実施場所について ● 9月 8日 定例会議 (10名) 【内 容】 子供みこし祭について、ヨーカドーと打合せ ● 11月 3日 六地藏みこし祭 (10名) 【内 容】 本年度で最後の祭。参加者も多く、盛大に終わる。 ● 11月11日 六地藏みこし祭の反省会 (11名) ● 1月15日 定例会議 (11名) 【内 容】 ヨーカドーの件で市長、部長他、議員2名出席。市の対応を聞く。 ● 3月 9日 定例会議 (9名) ● 9月13日 要望書提出 ● 1月19日 // ● 1月25日 // 【内 容】 ヨーカドーの跡地利用、その他閉店後の件。 ヨーカドー閉店後の街燈の点燈を継続する様、市に提出。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ■ イトヨーカドーの跡地利 用、JR奈良線の複線化等が 今後の問題 □ 六地藏区、ロクモール商 店街との連携を促し、地域の 発展に協力していく。 	○ 行政のみが先走りすると 区にとっては大変なことにも なりかねないので、市の北の 玄關として恥ずかしくない結 果をもたらせたい。	—

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会 認定日	③計画 認定日	④協議会の活動テーマ (認定申請書より)	⑤平成28年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題の解決に向けての 取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨まちづくり活動支援
5 志津川地区まち づくり協議会	H22年 2月8日	未	・緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくり ・生涯住み続けられる住環境をつくるまちづくり ・助け合って生きていけるまちづくりを目標としたまちづくりを行うことを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 6月11日 第6回まち協総会（18名） 【内 容】 2015年経過報告、会計報告、監査報告書、遊歩道、構ロードの維持管理鳥獣被害防護柵の維持管理について ● 7月 2日 構ロード草刈り、苗植え（14名） 【内 容】 まち協・構ロード草刈り、肥料入れ、苗植え ● 7月31日 まち協第55回・バーベキュー開催（23名） 【内 容】 村井氏提供の猪、鹿肉等でまち協恒例のバーベキューを開催 ● 8月27日 福祉の園夏祭り（14名） 【内 容】 福祉の園夏祭り委員協力 ● 9月 3日 まち協第56回・役員会（16名） 【内 容】 数内前会長の志を皆で引き継いで地区発展の為に意思統一を図る。 ● 10月 2日 まち協第57回・鳥獣被害防護柵の点検補修作業（8名） 【内 容】 被害箇所は上地域で18箇所、下地域で16箇所と改めて猪の凄さにビックリ。 ● 10月 8日 まち協第58回・役員会（18名） 【内 容】 鳥獣被害防護柵の点検結果と今後の対策、先進地視察の具体化(場所等)グループ企画の具体化。 ● 11月13日 京都工芸繊維大学生鳥獣被害対策設置作業（6名） 【内 容】 匂いによる害獣忌避効果の検証、京都工芸繊維大学 獣害対策チームによる対策設置作業に協力。 ● 11月29日 先進地視察下見（3名） 【内 容】 京都丹波町～美山町他。 ● 12月 3日 福祉の園陶器祭り（12名） 【内 容】 餅つき他委員協力。 ● 12月17日 まち協第59回・役員会（16名） 【内 容】 先進地視察の打合せ、鳥獣被害防護柵の支給分の設置と今後の対策他、新年会の具体化。 ● 12月18日 まち協第60回・まち協先進地視察（32名） 【内 容】 福祉の園のバスを借り、美山町他へ。道の駅をめぐり地場産業特産品の見学。 ● 12月22日 まち協の取材（4名） 【内 容】 菟道高校放送部 区・まち協の取材。 ● 1月 7日 まち協第61回・防護柵設置と補修作業（13名） 【内 容】 鳥獣被害の防護柵設置とインシに壊された柵の撤去作業。 ● 1月21日 まち協第62回・まち協新年会（15名） 【内 容】 村井氏からイバラや鹿、鶏肉の提供をいただき実施。 ● 1月28日 有害獣害対策研修会（3名） 【内 容】 「狩猟が見えるセミナーin京都」が「アクト・バル宇治」で開催。 ● 3月22日 市井戸端会議 防災問題で志津川視察（4名） 【内 容】 市井戸端会議が防災問題で志津川を視察。研修に約30人の方が来られ区内災害箇所を4名で案内した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鳥獣被害対策・防護柵点検補修活動実施、先進地視察は美山町などが実施できた。 ○ 蜂蜜が収穫できるようになり、促進のために花いっぱい運動の取り組みが拡大してきている。 ○ 園芸広場の取り組みを行っているが、福祉の園の20周年の式典で志津川区に感謝状を頂いた。 ○ 防災活動の取り組みなど内外から高く評価される状況となっている。 ○ 区民だよりを年9回発行しており、まち協の取り組みに魅力を感じていただいた方が新しくまち協の取り組みに参加して頂いている状況も生まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ダンプカー走行による騒音、振動、粉塵問題や資材置き場の騒音問題、農地埋め立て問題 ■ 活動への参加者が高齢化や健康問題などで減ってきている。 □ 第7回まち協総会に向けてまち協6役員協議を開催して2016年度の総括と2017年の取り組みを協議する。 □ まち協6役員協議の内容を踏まえて実施した第7回総会で新役員体制を確立することが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 花いっぱい運動・地場特産品目指す取り組みの具体化について。 ○ 防護柵の管理について。 ○ 構ロードの管理について。 ○ 先進地視察について。 ○ 懇親会 	—
6 明星町地区 まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月 1日 明星町地区まちづくり協議会会議（8名） 【内 容】 28年度年間活動計画書の作成。第5回明星町秋祭り実行委員会の立ち上げ。 ● 5月 6日 明星町地区まちづくり協議会会議（6名） 【内 容】 路線バス増便・発着時刻の変更に対して全戸アンケートの早期実施に向けて協議。 ● 5月11日 第5回秋祭り実行委員会（16名） 【内 容】 秋祭り実行委員会の開催。出席者は自治会・特別部会・委員会。 ● 6月 3日 明星町地区まちづくり協議会会議（8名） 【内 容】 自主防災準備委員会の報告。高齢の夜間ガレージ駐車場の調査を実施。フレンドマート菟道荒巻店協賛の乗車促進計画(スタンプラリー)が6月14日から2か月間開催。 ● 6月26日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 夜間違法ガレージ駐車場の調査を2班に分かれて実施。違法駐車は48台確認された。 ● 7月 1日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 秋祭り実行委員会の報告とイベント内容の検討。違法ガレージ駐車場の調査報告。 ● 8月 5日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 危機管理課による防災出前講座を9月25日に開催。秋祭り実行委員会との開催内容の協議。地蔵盆で行う、ねふた灯笼の制作と点灯の協議。 ● 9月 2日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 秋祭り実行委員会の開催と各部会・委員会等の参加人数の確認とイベントの確認・備品の確認。 ● 10月 7日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 第5回明星町秋祭りの最終確認。バス運営委員会にて利用状況・増便・発着時刻の変更調査アンケートを10月末締切で実施。 ● 10月22日 秋祭り前夜祭ハロウィンパレード（230名） 【内 容】 昨年度から開催しているハロウィンパレードは今年200人ほどの参加があり昨年の倍近い結果になった。 ● 10月23日 第5回明星町秋祭り（400人） 【内 容】 昨年と同様、盛大に開催された。各種イベントも大変好評であった。 ● 11月 4日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 自主防災準備委員会の報告。バス運営委員会アンケート調査の結果 報告。8割以上の方が現行の運営を望んでいた。 ● 12月 2日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 第4回まちづくり餅つき大会実行委員会途中経過、ノロウィルスが蔓延しているので中止も含めて再検討した。 ● 12月23日 第4回まちづくり餅つき大会（140名） 【内 容】 集会所ガレージで餅つき大会を開催。ノロウィルスの心配もあったが学区福祉委員会の協力で無事に終了した。 ● 1月 6日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 第4回餅つき大会の反省会。自主防災準備委員会の進行状況。バス運営委員会では増便が延期となったが発着時刻は改正作業中。 ● 2月 5日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 まちづくり塾の打ち合わせ。バス新ダイヤの検討。 ● 2月25日 まちづくり塾（10名） 【内 容】 明星町を住みよいまちにするために問題点を洗い出し、宇治市に要望書を提出。 ● 3月 3日 明星町地区まちづくり協議会会議 【内 容】 まちづくり塾の報告。来期の路線バス運営の検討。自主防災会規約や組織図も出来上がり3月末の自治会総会で承認を得る。 ● 3月 5日 明星町自主防災準備委員会主催避難訓練（250名） 【内 容】 5か所の児童公園を使って実施。公園では危機管理課が2か所、宇治東消防署が3か所と別れて避難訓練や防災グッズ・避難食の配布を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会役員が単年度の為、まちづくり協議会が主体になってバス運営委員会や自主防災準備委員会の運営活動をしていく。 ○ 秋祭りやもちつき大会を通して住民同士のコミュニケーション力を高められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ まちづくり活動への積極的な参加は少ない。 ■ 建築主・施工業者に「建築工事施工にあたってのお願い」の提出を拒否する施工業者が出てきている。 □ まちづくり活動においては人員に合わせた活動をしていく。 □ リーダーシップが取れる人材を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災準備委員会が立ち上がるのでマニュアルに沿った避難訓練を実施する。 ○ 現在の活動範囲を維持しつつ、人員が増えれば活動範囲を広げる。 	—

平成28年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
 課題や問題について
 解決に向けての取り組み、改善

①名称	②協議会認定日	③計画認定日	④協議会の活動テーマ (認定申請書より)	⑤平成28年度活動内容	⑥よかったこと、評価できること	⑦課題や問題の解決に向けての取り組み、改善	⑧今後の予定	⑨まちづくり活動支援
7 平等院表参道 まちづくり協議会	H28年 12月26日	未	平等院表参道が国内・国外のお客様を迎えるにふさわしい通りとなることを目指し、沿道の事業者・住民・行政等が協働して、地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりを進めることを本協議会の目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 6月13日 宇治市まちづくり協議会会議 ■ 7月 4日 宇治市まちづくり協議会会議 ■ 7月11日 平等院表参道商店会まちづくり協議会発足臨時総会 ■ 2月 6日 27年度親睦会・まちづくり協議会勉強会 ■ 3月22日 平等院表参道商店会まちづくり協議会会議 ■ 4月 3日 平成28年度総会資料作成会議 	<input type="checkbox"/> まちづくり協議会を発足できたこと。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 景観や風致について情報不足、勉強不足のため、専門家の方々の意見を取り入れたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クリーン宇治活動、オパケイベント及び地域活性化イベントに取り組む。 ○ まちづくりの講師を招き、勉強会を行いたい。 ○ 先進地の視察に行きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動費助成対象金額: 179,780円 助成金: 89,000円 内容: 先進地視察交通費